

「ウォールスタッフ連携など更に強化

2×4計算ソフト「らくわく」展開

キャリアネット

キャリアネット（名古屋市緑区）は、日本ツバメ社と共同で開発した2×4工法（木造軸組工法）の施工実績を踏まえ、「らくわく」を販売している。構造計算ソフト「らくわく」は、建築協会の監修のもと選定された基準の検討がで、開発した2×4工法と同様に、基礎から蓋板まで一貫対応が可能だ。特徴として、耐震性能の算定や引張強度・剛性などを考慮して実現できる。
は、日本ツバメ社が開発した「らくわく」を販売している。



計画段階の業務を効率良く実行するためのツールとして、基礎の設立、ポールの位置設定、各部材の寸法計算、基礎の強度計算、引張強度計算等を実現している。
は、日本ツバメ社が開発した「らくわく」を販売している。

（以下略）

微動探査との併用を提案

デザイントコスパの両立可能に
ヤマホン

ボーネット工場などは、導入後は運用が楽になった。一方で、設計変更などで追加入力は向上なら機能を強化し、コスト面でも、シミュレーションでは外表材・内装ていく。

本格的な業務を効率良く実行するためのツールとして、基礎の設立、各部材の寸法計算、基礎の強度計算、引張強度計算等を実現している。
は、日本ツバメ社が開発した「らくわく」を販売している。



中川貴文
代表理事

能登半島地震の未造住宅被害分析

耐震性能見える化協会

工法の4号建築物の構成による地盤波などの過去の熊本地震など4種類ある。基礎の設立、設計変更などで追加入力は向上なら機能を強化し、コスト面でも、シミュレーションでは外表材・内装していく。

耐震性能を見える化協会（奈良県奈良市）は、中川貴文（代表理事）と、耐震シミュレーションソフト「ウォールスタッフ」の開発者である中川貴文（京都大学生存圈研究員）が代表を務める。

今年は元日に能登半島地震が起り、多くの被害が生じたことでウォールスタッフに対する関心が高まっている。マスター会員は500人を超えたほか、コラボ会員も当初の目標であった40社を越えて20社になった。

学技術研究所の震災観測点が、能登半島地震について中度計で観測した波形、さるデータを使った解析で、モデルを使った解析で、が待された結果となつた。

ウォールスタッフについては、22年に公開したV

リートによる解析を実施し、耐震等級3モデル、さらにできるウォールスタッフ

段に向上了かって使いつよくするなり、会員限定で伏見入力なしでシミュレーションができるウォールスタッフ

Sも住宅営業の現場で使われているもののみられる。

日本CILT協会の委託研究

いへば、2×4を確認している。選択で、材別の推定被害状況も工法の4号建築物の構成による地盤波などの過去の熊本地震など4種類ある。基礎の設立、設計変更などで追加入力は向上なら機能を強化し、コスト面でも、シミュレーションでは外表材・内装していく。

耐震性能を見える化協会（奈良県奈良市）は、中川貴文（代表理事）と、耐震シミュレーションソフト「ウォールスタッフ」の開発者である中川貴文（京都大学生存圈研究員）が代表を務める。

今年は元日に能登半島地震が起り、多くの被害が生じたことでウォールスタッフ

壁量を変えてシミュレーション

耐震性能見える化協会

耐震性能を見える化協会（奈良県奈良市）は、中川貴文（代表理事）と、耐震シミュレーションソフト「ウォールスタッフ」の開発者である中川貴文（京都大学生存圈研究員）が代表を務める。

今年は元日に能登半島地震が起り、多くの被害が生じたことでウォールスタッフに対する関心が高まっている。マスター会員は500人を超えたほか、コラボ会員も当初の目標であった40社を越えて20社になった。

学技術研究所の震災観測点が、能登半島地震について中度計で観測した波形、さるデータを使った解析で、モデルを使った解析で、が待された結果となつた。

ウォールスタッフについては、22年に公開したV

リートによる解析を実施し、耐震等級3モデル、さらにできるウォールスタッフ

Sも住宅営業の現場で使われているもののみられる。

日本CILT協会の委託研究

は、同じ地盤でも、ウォールスタッフで耐震性を担保

される。

いエリア内で

も敵密には地

震被災を左右する地盤の周辺特性や増幅特性が異なる場合、それはより正確な被害に差があることが

ある。

半島地震で



半島地震で、建築物が建つ地盤の周辺特性や増幅特性が異なる場合、それはより正確な被害に差があることが

ある。

半島地震で

半島地震で

半島地震で